

2023年1月20日

味の素(株)、産業エリアのカーボンニュートラルを目指す 世界的プロジェクトへの川崎市の参画に賛同

味の素株式会社(社長：藤江 太郎 本社：東京都中央区)は、このたび、「産業クラスターのネットゼロ移行イニシアティブ」への川崎市の参画に賛同し、協力することを決定しました。

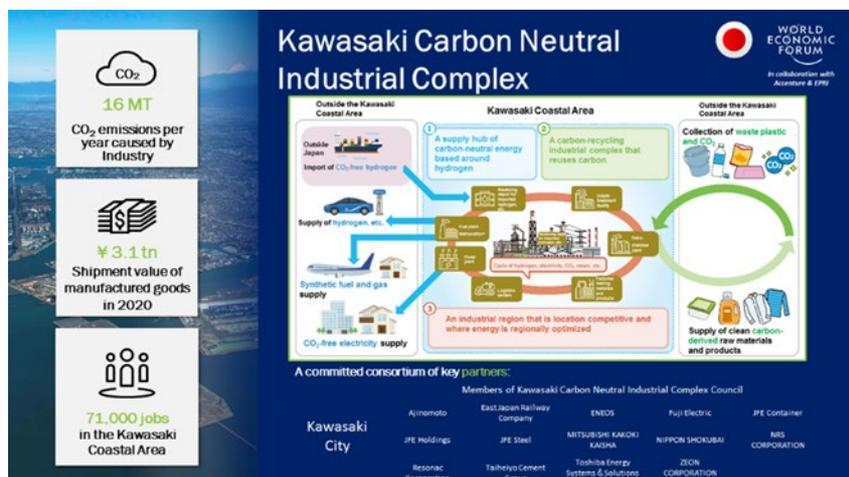
味の素グループは、2030年度に温室効果ガス排出量(スコープ1・2の合計)を2018年度比で50%削減することに取り組んでいます。さらに、2050年度までに温室効果ガス排出量を正味ゼロ(ネットゼロ)とするカーボンニュートラルを目標として設定しています。

こうした中、当社川崎事業所の立地自治体である川崎市が、世界経済フォーラムの主導する「産業クラスターのネットゼロ移行イニシアティブ(英語表記：Transitioning Industrial Clusters Towards Net Zero Initiative)」^{※1}に、「川崎カーボンニュートラルコンビナート(英語表記：Kawasaki Carbon Neutral Industrial Complex)」として、日本で初めて参画しました。

この取り組みは、世界経済フォーラム^{※2}により設立・運営されており、世界的な課題であるカーボンニュートラルの実現に向け、重要な役割を担う産業クラスターについて、国際的なクラスター間のノウハウ・知見を共有し、協業によるネットゼロ(カーボンニュートラル)を目指すものです。これまで世界各国の産業クラスター^{※3}が参画し、会議による情報交換や連携しての情報発信が行われています。

これについて、今回の参画主体である川崎市から、当社を含めた川崎カーボンニュートラルコンビナート形成推進協議会・川崎港カーボンニュートラルポート形成推進協議会会員企業へ賛同・協力の募集があり、当社はこれに賛同・協力を表明したものです。

今後、川崎市や他の賛同企業とともに、イニシアティブを積極的に活用し、国際的な情報発信及び他の産業クラスターとの連携に取り組み、川崎臨海部、ひいては首都圏のカーボンニュートラル化に貢献していきます。



<イニシアティブにて公表予定の川崎臨海部紹介部分>

【加盟にあたり賛同した企業一覧】

味の素株式会社	東日本旅客鉄道株式会社	E N E O S 株式会社
富士電機株式会社	J F E コンテナ株式会社	J F E ホールディングス株式会社
J F E スチール株式会社	三菱化工機株式会社	株式会社日本触媒
NRS株式会社	株式会社レゾナック (旧：昭和電工株式会社)	太平洋セメントグループ
東芝エネルギーシステムズ株式会社	日本ゼオン株式会社	

※1)産業クラスターのネットゼロ移行イニシアティブ

<https://initiatives.weforum.org/transitioning-industrial-clusters/home>

※2)世界経済フォーラム(World Economic Forum)：官民両セクターの協力を通じて世界情勢の改善に取り組む国際機関

<https://jp.weforum.org/>

※3)イニシアティブに加盟する産業クラスター

Brightlands Circular Space (オランダ・南西部)	H2 Houston Hub (アメリカ・ヒューストン)
Ohio Clean Hydrogen Hub Alliance (アメリカ・オハイオ)	Port of Antwerp Bruges (ベルギー・アントワープ)
ZERO CARBON HUMBER (イギリス・ハンバー川流域)	HyNet North West (イギリス・ノースウエスト地方)
KWINANA INDUSTRIES COUNCIL (オーストラリア・クウィンアナーナ)	BASQUE NET ZERO (スペイン・バスク地方)
Andalusian Green Hydrogen Valley (スペイン・アンダルシア地方)	Canary Islands Industrial Cluster (スペイン・カナリア諸島)
Greater St Louis and Illinois Regional Clean Hydrogen Hub Industrial Cluster (アメリカ・セントルイス)	Indo-Pacific Net-zero Battery-Materials Consortium (INBC) (インドネシア・中スラウェシ州)
Jababeka Net-Zero Industrial Cluster (インドネシア・ジャバベカ工業団地)	Kawasaki Carbon Neutral Industrial Complex (日本・川崎)
National Capital Hydrogen Center (アメリカ・ワシントン DC)	Ordos-Envision Net Zero Industrial Park (中国・オルドス)
Sanjiang New Area Industrial Park (中国・三江)	(網掛けは今回加入が発表されたクラスター ／イニシアティブ事務局の記載順)

詳細は世界経済フォーラムのプレスリリース参照

<https://www.weforum.org/press/news/>

参 考

2022年3月15日付プレスリリース

味の素グループ、カーボンニュートラルを新たな目標に設定

https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/presscenter/press/detail/2022_03_15.html

味の素グループは、“アミノ酸のはたらき”で食習慣や高齢化に伴う課題を解決し、人々のウェルネスを共創する、食と健康の課題解決企業を目指しています。

私たちは、“Eat Well, Live Well.”をコーポレートメッセージに、アミノ酸が持つ可能性を科学的に追求し、事業を通じて地域や社会とともに新しい価値を創出することで、さらなる成長を実現してまいります。

味の素グループの2021年度の売上高は1兆1,493億円。世界36の国・地域を拠点に置き、商品を販売している国・地域は130以上にのぼります(2022年現在)。詳しくは、www.ajinomoto.co.jpをご覧ください。

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先：Pr_media